

2023年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

【総合生活学科のディプロマポリシー】

総合生活学科は、全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性が、次の基準に達している者に短期大学士(総合生活学)の学位を授与する。

【知識・技能】

- ・生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。
- ・選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。
- ・現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。
- ・社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。
- ・持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。

【主体性・多様性・協働性】

- ・実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。
- ・主体的に学修を深める力を有している。
- ・多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。
- ・人々と協働・協調して学修を進める力を有している。

【総合生活学科のカリキュラムポリシー】

総合生活学科は、学生がディプロマ・ポリシーに定める基準に到達できるよう、次のように教育課程を編成する。

【教育課程の編成】

- ・学科基礎科目の必修科目として「総合生活論」「基礎ゼミ」「総合生活演習」、選択科目として「被服学」「食品学」「住居学」「情報社会論」「生活経営」「健康管理概論」「消費生活論」「家族関係」「被服構成基礎実習」「調理基礎実習」「住居デザイン基礎実習」「情報基礎演習」の生活全般に関わる基礎知識・基礎技術の習得を中心とする専門科目を用意している。
- ・学科の選択科目は7科目群で編成し、「服飾デザイン」「フードデザイン」「住居デザイン」「情報・ビジネス」「コミュニケーション」「心理」「キャリアデザイン」を自らのキャリアプランに応じて科目を選択し総合的に学べるよう体系的なカリキュラムを編成している。
- ・各科目で身に付けた専門的知識・技能を基にして、応用力や実践力が身に付くよう、講義形式、演習形式、実験・実習形式など、科目の特性に応じた多様な方法で授業を行っている。
- ・以下の資格が取得できる科目編成をしている。フードコーディネーター3級、秘書士、プレゼンテーション実務士、二級建築士・木造建築士(受験資格)

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果												
		1年次 2023		2年次 2024			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)												
		前期	後期	前期	後期		1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4			
学科基礎科目	総合生活論	○				①「総合生活論」の理解を深めることができる ②図書館が利用できるようになり情報の取捨選択ができる ③目標達成のためのキャリアプランを描くことができる ④生活全般に関わる諸問題の基本が解決できるようになる ⑤総合生活学科の各科目の学び方が理解できる	◎			○									
	基礎ゼミ		○			①多様な演習授業をとおして様々な分野への理解を深めることができるようになる ②興味のある専門分野を選択する手がかりを得ることができる	◎			○							○	○	
	総合生活演習 (担当:福井 愛美)				○	○	①「サービス接客検定」2級及び準1級を取得することができる。 ②依頼状を作成して、取材先へアポイントメントを取ることができる。 ③目的にそった取材ができる。 ④取材活動をまとめたりレポートを完成させることができる。					◎		○					○
	総合生活演習 (担当:堀 桂太郎)				○	○	①ビジネス用ソフトウェアの基本操作ができる。 ②ビジネス用ソフトウェアを活用した作業ができる。 ③制御対象の構成を理解して、制御の方法が理解できる。 ④プログラミング言語を用いて、制御対象のコンピュータ制御ができる。			○				○					
	総合生活演習 (担当:古田 貴美子)				○	○	①フォーマルなドレスの型紙を作成することができる。 ②デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。 ③丁寧に縫製し、美しく仕上げることができる。	◎	◎					○		○			

2023年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)											
		1年次 2023		2年次 2024			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4		
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関する学 科基礎科目につ いて、基礎的な 知識や技能を有 している。	選択科目群の 総合的な学際 的な学びを通 じて、創作的 に思考する技 能を有している。	客観的な情報 の収集力、分 析力、論理的 な思考力、的 確な判断力及 び文章作成能 力を有している。	現代社会の課 題発見能力と 課題解決能力 及び実践力を 有している。	社会に貢献で きる豊かな表 現力やコミュ ニケーション 力を有している。	持続可能な社 会のために、 未来を切り開 く創造力を有 している。	実現可能な キャリアプラン に向かって資 格取得に資 する力を有 している。	主体的に学修 を深める力を 有している。	多様なもの の見方や考 え方を尊重 する姿勢を 有している。	人々と協働・ 協調して学 修を進める 力を有して いる。		
服飾デザイン	繊維学実験法		○			①繊維、糸、繊維の実験法を理解することができる。 ②試料作りの大切さを理解することができる。 ③実験結果を図表にまとめ、考察することができる。 ④実験レポートを作成することができる。	○	◎	○								○	
	被服構成実習(和裁)				○	①平面構成の衣服である着物の特徴を理解することができる。 ②ゆかたの部位に適した縫い方を理解することができる。 ③手縫いでゆかたを縫うことができる。	◎	○								○		
	染色学				○	①繊維によって用いられる染料が異なることを理解することができる。 ②自然の草木が染料になることを理解することができる。 ③身近な素材を使って染色することができる。		◎			○				○		○	
	ファッションデザイン論				○	①服飾の変遷を学ぶことで、その時代性と衣服の関係を理解し、デザインの基本論理から衣服におけるデザインと機能について理解を深める事ができる。 ②学んだ知識をもとに、実生活において活用することができるようになる。					○			◎	○			
	ファッションビジネス論				○	①ファッションビジネス基礎知識とマーチャンダイジング戦略の認識を習得することができる。 ②チームで企画を作り上げることにより、コミュニケーション力を高めることができる。					○			◎	○			
選択科目	製パン・製菓実習	○				①製パン・製菓の理論が理解できるようになる。 ②さまざまな手法を習得することができるようになる。	◎							○	○	○	○	
	調理学実習		○			①健康や食の安心安全を前提とした食事作りができるようになる。 ②行事食について学び、食文化など多面に渡って食を理解できる。		◎							○	○	○	
	栄養学		○			①栄養と健康に関する正しい知識が習得できるようになる。 ②健康な食生活が実践できるようになる。		◎		○				○	○			
	調理学		○			①調理操作や食品の特性を理解し、理論に基づいた調理ができるようになる。 ②健康を考えたおいしい食事作りが実践できる。	◎							○	○			
	食品加工学				○	①食品加工技術の進歩に伴う食品の特性や機能が理解できるようになる。 ②加工食品の正しい選択や利用方法を習得することができる。 ③健康で安全な食生活が実践できるようになる。		◎		○				○	○			
	食品学演習				○	①食品の正しい知識と扱い方を習得することができる。 ②食品の基本的な品質評価や鑑別方法について理解できるようになる。		◎	○								○	○
	食品加工学実習				○	①食品の加工方法を身に付けることができる。 ②食品加工の原理を理解し、豊かな食生活を実践できる応用力が身につくようになる。	◎							○	○	○	○	
	食品衛生学				○	①「食の安全」がいかに重要かを認識できるようになる。 ②学んだ知識を日常に活かすことができるようになる。 ③フードコーディネーターや消費者の立場で適切な食品衛生管理方法を理解・習得できる。		○						◎				
	食生活論		○			食生活を楽しむための知識を身に付けることができる。		○						◎	○			
	フードコーディネーターの基礎				○	フードコーディネーターに必要な教養と知識が習得できる。		○						◎	○			
住居デザイン	住まいの法規	○				住まいに関する法律が、わたしたちの身近な住環境や社会環境に、いかに関わっているかを理解することができます。		○		○			○	◎	○			
	住まいの施工	○				住まいに関する施工をとらえて、建物をつくるとはどういう事を「人」「もの」「経済」「環境」といった視点で理解できるようになります。		○						◎	○			
	住まいの構法		○			在来構法 木造一戸建住宅の主要な骨組を理解できるようになる。	○	○						◎				
	インテリアコーディネート概論		○			①インテリアコーディネートの基礎を体系的に理解できるようになる。 ②住まいのインテリアコーディネートに役立つ知識を得ることができる。	◎	◎	○		○			○				
	インテリア設計製図		○			インテリア設計製図の基礎的な技法が修得できる。	○	◎		○				◎				
	建築CAD演習		○			①2D CADソフトの基本的な操作を理解し、作図ができる。 ②2D CADソフトを用いて、平面図、立面図、断面図、屋根伏図などの建築図面の作図ができる。 ③3D CADソフトの基本的な操作を理解し、作図ができる。 ④コンセプトを作成し、2D・3DCADソフトを用いて、コンセプトを具現化し、図面化ができる。 ⑤自分の作品をプレゼンテーションできる。		◎		○				◎				

2023年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)												
		1年次 2023		2年次 2024			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4			
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的な学びを通して、基礎的な知識や技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。			
住居デザイン	インテリアデザイン論			○		インテリアデザインの基礎的事項を体系的に理解できるようになる。	○	◎	○		○			◎					
	住居計画学				○	住宅の可能性について主体的に考えることができるようになる。		◎		○				◎					
	住宅デザイン実習Ⅰ				○	木造住宅と鉄筋コンクリート住宅の設計製図の基礎的技法が修得できる。	○	◎		○		○	◎						
	住宅デザイン実習Ⅱ				○	木造住宅、鉄筋コンクリート住宅の設計を理解し、平面図、配置図、断面図、立面図をかけるようになる。	○	◎		○		○	◎						
	住まいの構造				○	①建物を支える構造に関する各種の基本的知識を習得し、活用することができるようになる。 ②住まいの構造を考える上で必要となる構造力学の基本的知識を習得し、活用することができるようになる。		○					◎	○					
	住まいの材料				○	自分の身の回りを含めて、今まで何気なく見ていた材料にそこに使われている必然性があることを知り、インテリアの知識を深めるとともに、その場所に応じた適切なインテリア材料の選択方法が理解できるようになる。		○				○	◎	○					
	宅地建物と法	○				宅地建物に関する法令の基礎事項を理解できるようになる。	○			○				◎					
選択科目	情報科学			○		①コンピュータにおけるデータの表現が理解できる。 ②コンピュータの構成と基本動作を説明できる。 ③プログラミング言語を用いた基本的なプログラムを作成できる。 ④確率や統計の基礎知識を用いてデータを分析する考え方を理解できる。		◎	○										
		コンピュータと情報発信			○	①ウェブページの基本を理解することができる。 ②JavaScriptの基礎を理解することができる。 ③簡単なウェブページを制作することができる。 ④ウェブページを用いて効果的な情報発信ができる。	○	◎	○	○	○								
	秘書ビジネス論			○		①新人として働くための心構えと基本的姿勢を身に付けることができる。 ②組織の一員として働く意義を理解できる。 ③文書実務等の基本業務に関する知識を深めることができる。 ④組織コミュニケーションの意味を理解できる。 ⑤ビジネス活動に関する知識を深めることができる。 もって、自己の実現可能なキャリアプランに向かって自ら主体的な取り組みを深める力を高める。	○						◎	○					
		秘書実務Ⅰ			○	①組織で働く時の基本的な姿勢を身に付けることができる。 ②オフィスワークの基本業務を身に付けることができる。 ③職場でのコミュニケーション能力の基本を身に付けることができる。	○							◎					
	秘書実務Ⅱ			○		①直前の「秘書実務Ⅰ」で学んだ内容をすぐに実行できる。 ②職場でのコミュニケーション力を身に付けることができる。 ③基本的な社内・社外文書をパソコンで作成できる。 ④ビジネスの慶弔業務、出張業務を身に付けることができる。 ⑤来客の対応、電話の対応を身に付けることができる。 ⑥社会人としてのマナーを身に付けることができる。	○			○			◎						
		社会調査論			○	社会調査の意義、手法、サンプリング、データの読み込み方を理解のうえ、まとめのプレゼンテーションができるようになる。			○	◎									
	マーケティング論			○		①マーケティングの定義及び役割が理解できるようになる。 ②マーケット・セグメンテーションに関する知識が理解できるようになる。 ③ターゲティング及びポジショニングに関する知識が理解できるようになる。 ④製品戦略並びに価格戦略に関する知識が理解できるようになる。 ⑤流通戦略並びに販売促進戦略に関する知識が理解できるようになる。			○	○									
		経営会計実務処理			○	到達目標は日商簿記初級レベルの基礎知識を理解できるようになることです。具体的な目標は以下の通りです。 ①企業の経済活動を理解できるようになること。 ②企業の経済活動を、簿記のルールにしたがって、帳簿記入できるようになること。	○			◎			○						
	医療事務概論			○		①医療秘書技能とセンスで患者対応ができるようになる。 ②医療保険制度のしくみや、保険証の見方がわかるようになる。 ③簡単な治療代の算定と保険請求事務ができるようになる。	○							◎					

2023年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)												
		1年次 2023		2年次 2024			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4			
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。			
選択科目	心		○			①人間の美しさの深層心理を理解することで、個人と他者の美に対する違いがわかり個人の内面と相手の内面を正しく理解できるようになる。 ②個人と他者の価値観や五感の感じ方、美しさの心理の違いを理解することで自分自身をうまく伝え、上手にコミュニケーションがとれるようになる。					○	◎	○	○	○				
	理			○		①TVや新聞の犯罪報道を正確に理解できるようになる。 ②犯罪捜査に関する専門用語などが理解できるようになる。 ③規範意識・遵法精神が醸成できるようになる。 ④犯罪、災害等に対する危機管理能力を身に付け、有事の際に迅速的確に対応するための生きる力を持てるようになる。	○		○	◎									
					○	自分や他者の行動、考え、感情表現などを、心理学的な視点から理解できるようになる。	○			○	◎	○							
				○		①普段何気なく接している音楽について、人がどのように聞き、認識し、感じているのかを理解することができる。 ②ディスカッションや実験を通して、自分の考えをまとめ、相手に情報を正確に伝えるためにどのようにすればよいかを考えることができる。		○	○		◎				○				
				○		①カウンセリングの基本を学び、相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ②自分自身について理解を深め、自分の思いを相手にうまく伝えることができるようになる。	○	○	○	○	◎								
	キャリアデザイン	○				日本のブライダルについての基礎知識が理解できるようになる。	◎					○	○	○	○				
			○			①世界のブライダル事情が理解できるようになる。 ②ブライダルの企画ができるようになる。	◎					○	○	○	○				
				○		①ブライダルの歴史や関連する基礎知識を理解できるようになる。 ②日本従来のしきたりや文化を理解すると共に、現在の流行や最新のブライダルについて理解できるようになる。 ③ブライダル業界で求められるコミュニケーションスキルの必要性を理解できるようになる。	◎				○		○	○					
				○		①ブライダル知識を体験することでより深く理解できるようになる ②ワークをとおして、企画力・想像力・実践力が身につけることができる	◎				○		○	○					
		○				①社会人になるための女性として必要な正しいスキンケア・メイクアップができるようになる。 ②化粧品の成分やその効果を理解することで、肌にあう化粧品の選び方や肌トラブルを未然に防ぐことができる。 ③顔型・顔のプロモーション・パーソナルカラーを習得することで個人の魅力を演出することができるようになる。								◎	○				
				○		①メイクアップ論での習得した内容を実践することで、自己流メイクで理解できていなかった顔のプロモーションやパーツバランス、アンダートーンにあったメイクができるようになる。 ②技術を向上させることで、第一印象(好感度)をアップさせ印象管理の重要性を理解・表現できる。 ③メイクセラピー検定試験 2級認定メイクセラピーアドバイザー資格を履修者全員取得する。 ④就活メイク・社会人になった時の個人の演出メイクができるようになる。									◎	○			
				○											◎	○			